

# 叡智得留俱樂部 事業報告書

3 月 31 日

2021

2020(令和 2)年 4 月 1 日～2021(令和 3)年 3 月 31 日

第 8 期

法定保存期限：2031 年 6 月 30 日迄（法 57 条第 2 項議事録保存、附属書類）

## 目次

目次.....	1
はじめに.....	2
<b>第8期事業報告</b> .....	3
第8期活動報告.....	3
活動報告総括.....	3
茶事『杓底一残水』.....	3
文化庁伝統文化親子教室事業.....	3
その他目標.....	4
第8期会計報告.....	5
特記.....	5
財務諸表（6頁参照）.....	5
財産目録（含む消耗備品）.....	7
第8期  監査報告書.....	9
<b>第9期事業計画</b> .....	10
<b>第9期役員</b> .....	10
第9期組織図.....	10
<b>第9期会計予算</b> .....	12
<b>叡智得留倶楽部 会員及び役員記録</b> （敬称略）.....	14
設立会員（7名）  2014(平成26)年5月31日設立時.....	14
歴代役員（ありがとうございました。）.....	14

## はじめに

叡智得留倶楽部は「持続可能な、文化的かつ平和な世界を目指して！」を使命として、2014（平成26）年6月30日 叡智得留倶楽部 定款を作成し、2014（平成26）年6月28日（土）第1期 叡智得留倶楽部 設立時総会に於いて、設立時社員7名によって、承認可決されました。

第1期、2011（平成23）年3月11日～2014（平成26）年3月の3年間の活動は設立代表者湯澤秀昭の**個人活動**でしたが、設立趣意書<sup>1</sup>に賛同した設立時社員7名によって追認されました。

第2期は前記設立時総会に於いて、承認された事業計画に基づいた**団体活動**であった点で、叡智得留倶楽部に於いて大変意義深い期となったと思われます。

第3期は茶事「杓底一残水」の活動を更に広げました。文化庁の**伝統文化親子教室事業**<sup>2</sup>の趣旨に賛同し、同事業の2年目にあたる平成27年度事業に『**親子茶道教室 茶事「杓底一残水」**』で「**平等な機会の提供をする！**」為、平成26年度で実績のなかった10区の内、江戸川区で応募し、採択されました。しかし、実施するにあたり、**公的施設の確保ができず**、世田谷区の代表理事宅で実施しました。

第4期は平成28年度文化庁伝統文化親子教室事業に「**平等な機会の提供をする！**」べく、第3期調査で前向きに回答いただいた**渋谷区のお力添えを頂き公的会場が確保**でき、実施しました。

第5期は平成29年度でお力添えを頂いた渋谷区でのお力添えが頂けず、伝統文化親子教室事業事務局へ問い合わせしたところ、開催できる場所であれば、**公的施設でなくても可能**との回答を頂き、平成28年度同様、世田谷区の代表理事宅で実施しました。平成27年度参加者全員にも参加いただき大変喜んでいただきました。**継続性の重要性**が確認できました。

第6期はサポート企業のJR大崎駅徒歩5分のマンション建築に伴い、建物内に**茶室『叡智庵』**が建築され、同社との覚書締結により、**安定的な活用をすることが出来る環境が整いました**。叡智得留倶楽部の代表理事もそちらに移転することになり、**事務局も移転**しました。

第7期は伝統文化親子教室事業で初めて**放課後子供教室との連携事業**を品川区、すまいるスクール荏原平塚で5回の教室最終回に37名の参加者の内、29名で保護者他35名を客に迎え、叡智得留倶楽部として初めての茶会、**第1回茶会『杓底一残水』**を実施しました。

今期、第8期は**新型コロナウイルス感染症（COVID-19）禍**ではあったが文化庁伝統文化親子教室事業、**親子茶道教室「茶事『杓底一残水』**」を実施した。前期、品川区、すまいるスクール3校との連携事業を計画したが中止となり、茶室『叡智庵』で**第2回～第9回茶会『杓底一残水』**を実施しました。

今後とも、**叡智得留倶楽部の使命**「持続可能な、文化的かつ平和な世界を目指して！」、より多くの賛同者と共に**できる方が、できる事・やりたい事を、できる時に、できる範囲で**、コツコツと活動することにより自身が幸せを感じ、その結果、より多くの方がより多くの幸せを感じられ、多様性から分断社会になってしまった世界からの脱却になることを願ってやみません。

[▲目次へ戻る](#)

<sup>1</sup> [http://www.ovcg.co.jp/hlclub/hlc\\_summary.html](http://www.ovcg.co.jp/hlclub/hlc_summary.html) [アクセス 2021年3月31日]

<sup>2</sup> <http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/oyako/> [アクセス 2021年3月31日]

## 第8期事業報告

### 第8期活動報告

#### 活動報告総括

第8期事業年度は2020（令和2）年4月1日～2021（令和3）年3月31日です。

期末会員数は8名で増減はありませんでした。（LINEグループ、叡智得留倶楽部の後ろに表示される「(8)」が参加人数で、同カ所をクリックするとメンバーが表示されます。）

活動の詳細は別紙「F\_DB 事業\_活動\_20210331.xlsx」のシート「F\_第8期叡智得留倶楽部活動計画及び結果報告」の通りです。

#### 茶事『杓底一残水』<sup>3</sup>

前期に初めて「茶会」、第1回茶会『杓底一残水』（令和1年7月20日(土)）<sup>4</sup>を文化庁伝統文化親子教室事業の放課後子供教室との連携事業で行い、これを受け今期は5月から11月迄の間、3校との連携事業で行う予定でした。しかし、COVID-19禍で中止になりました。教室の詳細は、次項「文化庁伝統文化親子教室事業」で報告します。

茶室『叡智庵』での「親子茶道教室 茶事『杓底一残水』」はCOVID-19禍でやむなく、飲食を伴う懐石席を行うことができず、参加家族毎の茶会を行う事にしました。茶会は兄弟姉妹参加もあり9月13日から15日の間、参加総数21名、8家族で8回の実施となりました。2歳10か月の祖父母へのおもてなしから高1の娘母の父へのおもてなし、全ての茶会は見る者の顔をほころびっ放しにします<sup>5</sup>。教室の詳細は、次項「文化庁伝統文化親子教室事業」で報告します。

第16回茶事『杓底一残水』（2020(令和2)年11月28日)を叡智得留倶楽部のサポート企業の接待の依頼を受け実施しました。依頼を受けてから開催日に向け第3波に向かい感染者が増加しお断りしようと思いましたが、どうしてもお願いしますと依頼を受け、親子茶道教室の茶会に対し、食事を伴う茶事であるため、茶事用の感染防止対策、懐石他飲食の際は耳掛け、手持ち両用のマスクセットハンドホルダを使用し飲食を口に運ぶとき以外は常にマスクをしている様に強化し実施しました。客の実家が静岡で茶業を営んでいて、茶事を体験したいとの強い要望があったとのことで、煎茶道と茶の湯の融合で特に玉露手前は初めてとのことで、感激されていました。何より無事に実施することができました<sup>6</sup>。

#### 文化庁伝統文化親子教室事業

平成27（2015）年度から令和2（2020）年度と6年連続採択され、前期に初めて「茶会」、第1回茶会『杓底一残水』（令和1年7月20日(土)）<sup>7</sup>を文化庁伝統文化親子教室事業の放

<sup>3</sup> 茶事『杓底一残水』実績 [http://www.oycg.co.jp/hlclub/chaji\\_shakuteiichizansui.html](http://www.oycg.co.jp/hlclub/chaji_shakuteiichizansui.html)

<sup>4</sup> 第1回茶会『杓底一残水』（令和1年7月20日(土)）会記

<http://www.oycg.co.jp/src/10602262/%E7%AC%AC1%E5%9B%9E%E3%80%80%E8%8C%B6%E4%BC%9A%E3%80%8E%E6%9D%93%E5%BA%95%E4%B8%80%E6%AE%8B%E6%B0%B4%E3%80%8F%E3%80%80H31%E8%A6%AA%E5%AD%90%E8%8C%B6%E9%81%93%E6%95%99%E5%AE%A4%E3%80%80%E8%87%AA%E4%BC%9A%E8%A8%98%E6%B0%8F%E5%90%8D%E7%84%A1%E3%81%9720190720.pdf?v=1569231589515>

<sup>5</sup> [http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako\\_chado\\_jisseki.html](http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado_jisseki.html)

<sup>6</sup> 第16回茶事「杓底一残水」自会記20201128.pdf

[http://www.oycg.co.jp/hlclub/chaji\\_shakuteiichizansui.html](http://www.oycg.co.jp/hlclub/chaji_shakuteiichizansui.html)

<sup>7</sup> 第1回茶会『杓底一残水』（令和1年7月20日(土)）会記

<http://www.oycg.co.jp/src/10602262/%E7%AC%AC1%E5%9B%9E%E3%80%80%E8%8C%B6%E4%BC%9A%E3%80%8E%E6%9D%93%E5%BA%95%E4%B8%80%E6%AE%8B%E6%B0%B4%E3%80%8F%E3%80%80H31%E8%A6%AA%E5%AD%90%E8%8C%B6%E9%81%93%E6%95%99%E5%AE%A4%E3%80%80%E8%87%AA%E4%BC%9A%E8%A8%98%E6%B0%8F%E5%90%8D%E7%84>

課後子供教室との連携事業を受け、今期は品川区すまいるスクールで新たに希望の有った叡智庵直近の芳水を5月に、前期希望がありながら対応できなかった大井第一を7月8月に、昨年実施した荏原平塚を10月11月に、以上3校とこの間、主となる茶室『叡智庵』で8月から11月迄の実施の申請が採択され、過去最大の事業になることもあり2019年12月30日<sup>8</sup>には専用ホームページを早々に立ち上げ実施準備をしていました。ところが、COVID-19の影響で各すまいるスクールから中止の連絡が入り大変残念ながら2020年6月10日に全てのすまいるスクールとの連携教室は中止になってしまいました<sup>9</sup>。

2020年4月のCOVID-19の第一波は治まっていたものの先行きが見えない中、辞退書を準備し伝統文化親子教室事業事務局へ辞退の相談をしたところ、感染防止対策をして是非実施してほしいとの回答、及び子供の行き場がなくなっているとの報道を受け、8月から11月迄の実施予定をCOVID-19が落ち着いている内に愁傷させるべく急遽繰り上げ、2020年6月5日親子茶道教室 茶事『杓底一残水』の募集を開始しました<sup>10</sup>。

今期は、前期に幼児のニーズがあることが分かり、募集を幼児からとしたところ、最年少2歳10か月をはじめ幼児7名を含め単回希望もありキャンセル待ちの状況下で計15名の子供の参加がありました。幼児が自身で茶道をしたいと考えることは考えられず、就職氷河期世代の親自身が茶道に触れる機会がなかったとのことで参加したようで、正しく「親子教室の実施意義」と思います。

2020年7月13日より密を避ける為、2家族/回で教室を開始したところ、報道で子供は大丈夫と思われていましたが、東京都のデータ<sup>11</sup>で7月13日に10代;3名、14日に10歳未満;7名、10代;6名の感染者との報道があり、2020年7月15日に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の10歳未満、10代の感染拡大に対応するため受入れ各グループ枠を1家族のみとします。

(2020/07/15)<sup>12</sup>とし、日々東京都が発表する感染者データをトレースし、どうしても調整がつかなかった日以外は1家族ずつ実施しました。その様な状況から、1日3回入替時の消毒等感染予防対策を徹底し、教室は計50回、茶会は兄弟姉妹参加もあり8回の実施となりました。教室期間中は幼児が多いこともあり、教室終了後はほとんど保育園状況で微笑ましい状況でした。最終茶会9月15日で今期は終了いたしました。COVID-19禍での実施さすがに疲れしました。

## その他目標

今期は、COVID-19禍、伝統文化親子教室事業の疲れもあり、出来なかった。

[▲目次へ戻る](#)

---

[%A1%E3%81%9720190720.pdf?v=1569231589515](#)

<sup>8</sup> [http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako\\_chado/2020.html#20191230](http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado/2020.html#20191230)

<sup>9</sup> [http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako\\_chado/2020.html#20200610](http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado/2020.html#20200610)

<sup>10</sup> [http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako\\_chado/2020.html#20200605](http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado/2020.html#20200605)

<sup>11</sup> <http://www.oycg.co.jp/src/12040950/20200902COVID-19%E6%84%9F%E6%9F%93%E8%80%85%E5%B9%B4%E4%BB%A3%E5%B1%9E%E6%80%A7.pdf?v=1577671877697>

<sup>12</sup> [http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako\\_chado/2020.html#schedule](http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado/2020.html#schedule)

## 第8期会計報告

### 特記

1. 前期に続き、預金口座名を叡智得留倶楽部とせず、個人名としています。その理由は以下によります。
  - ① 団体名を使用するとネットバンキングの費用が発生する。
  - ② 個人名口座を使用することにより、振り込み手数料が無料で利用できる。
2. 残高証明書は通帳コピーと原本の付け合せとします。その理由は¥770-の残高証明書発行手数料<sup>13</sup>を発生させない為です。
3. 文化庁事業は公費を使用するので、公費支出要件を満たす領収書を受領しています。

### 財務諸表（6頁参照）

前期に改定した書式を使用して参ります。

### 貸借対照表

- 1) 【資産の部】で、今期は文化庁の委託費（支援金）が期内に入金しましたので【現金及び預金】に、しかし事務処理が追い付かず、開催者が受領した現金を【未収金】に、前期に引き続き COVID-19 禍で延期している「茶道教室 茶事『杓底一残水』」の未使用チケット代金を【仮払金】に計上しました。
- 2) 【負債の部】で、開催者が立替払いした親子教室の支出を【未払金】に、前期に引き続き「茶道教室 茶事『杓底一残水』」の参加者の未使用チケット代金を【預り金】に計上しました。

### 損益計算書

- 1) 【活動余剰金】について  
文化庁伝統文化親子茶道教室の収支は▲10,131-と事業自体の損失が出ました。今後、サポート企業等のご支援、寄附をお願いして参ります。
- 2) 【支援余剰金】について  
第16回茶事『杓底一残水』の参加費の20%をお福分けとしての支援寄付を頂きました。

---

<sup>13</sup> 手数料 <http://www.bk.mufg.jp/tesuuryou/sonota.html> [アクセス日：2021年3月31日]

貸借対照表										2021年3月31日現在 (単位:円)										2021年3月31日現在 (単位:円)									
資産の部										負債・余剰金の部																			
科目	前期実績	当期予算	予前期比	予実増減	当期実績	前期実比	前実増減	予実比	予過不足	科目	前期実績	当期予算	予前期比	予実増減	当期実績	前期実比	前実増減	予実比	予過不足										
【現金及び預金】	193,583	178,789	92.4%	-14,794	918,790	474.6%	725,207	513.9%	740,001																				
三菱UFJ銀行	193,583	178,789	92.4%	-14,794	918,790	474.6%	725,207	513.9%	740,001																				
【未収金】	398,506				58,900					【未払金】	1,172,506				788,037														
茶事『杓底一残水』	23,200				0					茶事『杓底一残水』	23,200				0														
茶道教室	18,000				0					茶道教室	18,000				0														
伝統文化親子茶道教	204,400				58,900					伝統文化親子茶道教室	978,400				788,037														
その他	152,906				0					その他	152,906				0														
【未収益金】	774,000				0					【預り金】	12,000				12,000														
文化庁支援金	774,000				0					茶道教室	12,000				12,000														
活動支援金	0				0																								
【仮払金】	12,000				12,000					負債の部合計	1,184,506				800,037														
茶道教室	12,000				12,000					純資産の部																			
										【当期余剰金】	5,956	-14,794	-248.4%	-20,750	-3,931	-66.0%	-9,887	26.6%	10,863										
										活動余剰金	156	-29,994	-19226.9%	-30,150	-10,131	-6494.2%	-10,287	33.8%	19,863										
										支援余剰金	5,800	15,200	262.1%	9,400	6,200	106.9%	400	40.8%	-9,000										
										【前期繰越金】	187,627	193,583	103.2%	5,956	193,583	103.2%	5,956	100.0%	0										
										前期活動繰越金	135,327	135,483	100.1%	156	135,483	100.1%	156	100.0%	0										
										前期支援繰越金	52,300	58,100	111.1%	5,800	58,100	111.1%	5,800	100.0%	0										
										【次期繰越金合計】	193,583	178,789	92.4%	-14,794	189,652	98.0%	-3,931	106.1%	10,863										
										次期活動繰越金	135,483	105,489	77.9%	-29,994	125,352	92.5%	-10,131	118.8%	19,863										
										次期支援繰越金	58,100	73,300	126.2%	15,200	64,300	110.7%	6,200	87.7%	-9,000										
										純資産の部合計	193,583	178,789	92.4%	-14,794	189,652	98.0%	-3,931	106.1%	10,863										
資産の部合計	1,378,089	178,789	13.0%	-1,199,300	989,690	71.8%	-388,399	553.6%		負債及び純資産の部合計	1,378,089	178,789	13.0%	-1,199,300	989,689	71.8%	-388,400	553.6%	810,900										

損益計算書										2020年4月1日～2021年3月31日										2020年4月1日～2021年3月31日									
収入の部										支出の部																			
科目	前期実績	当期予算	予前期比	予実増減	当期実績	前期実比	前実増減	予実比	予過不足	科目	前期実績	当期予算	予前期比	予実増減	当期実績	前期実比	前実増減	予実比	予過不足										
【参加費】	1,184,656	1,726,006	145.7%	541,344	802,706	67.8%	-381,956	46.5%	-923,300	【運営費】	1,184,506	1,740,800	147.0%	556,294	812,837	68.6%	-371,669	46.7%	-721,963										
茶事『杓底一残水』	23,200	56,000	241.4%	32,800	24,800	106.9%	1,600	44.3%	-31,200	茶事『杓底一残水』	23,200	44,800	193.1%	21,600	24,800		1,600	55.4%	-20,000										
茶道教室	30,000	210,000	700.0%	180,000	0	0.0%	-30,000		-210,000	茶道教室	30,000	206,000	686.7%	176,000	0		-30,000												
伝統文化親子茶道教	204,400	660,000	322.9%	455,600	88,900	43.5%	-115,500		-571,100	伝統文化親子茶道教室	246,679	690,000	279.7%	443,321	99,037	40.1%	-147,642	14.4%	-590,963										
文化庁支援金	774,000	800,000	103.4%	26,000	689,000	89.0%	-85,000	86.1%	-111,000	文化庁支援金分	774,000	800,000	103.4%	26,000	689,000		-85,000	86.1%	-111,000										
その他	153,056		0.0%	-153,056	0	0.0%	-153,056		0	その他	110,627		0.0%		0		-110,627		0										
【その他】	6	6	100.0%	0	6	100.0%	0	100.0%	0		0			0															
寄付(残高確認)	5	5	100.0%	0	5	100.0%	0	100.0%	0		0			0															
受取利息	1	1	100.0%	0	1	100.0%	0	100.0%	0		0			0															
	0			0	0				0		0			0															
活動金収入合計	1,184,662	1,726,006	145.7%	541,344	802,706	67.8%		46.5%		支出の部合計	1,184,506	1,740,800	147.0%	556,294	812,837	68.6%	-371,669	46.7%	-721,963										
【支援寄付】	5,800	15,200	262.1%	9,400	6,200	106.9%	400	40.8%	-9,000	活動余剰金	156	-29,994			-10,131														
茶事『杓底一残水』	5,800	15,200	262.1%	9,400	6,200	106.9%	400	40.8%	-9,000	支援余剰金	5,800	15,200			6,200														
その他	0			0	0				0																				
収入の部合計	1,190,462	1,741,206	146.3%	550,744	808,906	67.9%	-381,556	46.5%	-932,300	当期余剰金	5,956	-14,794	-248.4%	-20,750	-3,931	-66.0%	-9,887	26.6%	10,863										

財産目録（含む消耗備品）  
（別紙「F 7期\_叡智得留倶楽部消耗備品棚卸表」の通り）

例年、文化庁伝統文化親子教室事業では

■ 支援金により取得した『物品の管理』について<sup>14</sup>

・所有権は支援事業者に帰属しますが、支援金で購入したものであることを十分に踏まえ、支援事業者において適切な管理を行ってください。

・物品の売却や、まだ使用できる物品の廃棄・紛失・譲渡や、個人の所有物とする行為は認められません。

と規定しています。

今期、購入を含め¥1,706,119-（叡智得留倶楽部購入分を含む、購入金額評価（含消費税）が「F7期\_叡智得留倶楽部消耗備品棚卸表.pdf」の通り消耗備品となりました。

活動開始以来、以下の不具合がありました。それぞれ原因の特定をし、これを活かすテキスト改訂、教室で見本として提示し、扱いの教材としても活用し、指導方法の是正に活かしてまいります。

第3期

期末棚卸中に赤楽¥16,146-にひび割れを発見しました（同資料最終頁参照）。教室開催中に建水にぶつける場面があり、取り扱いを注意したのですが、

- ① 指導が不十分であった。
- ② 赤楽は他の茶碗に比し強度的に弱い。

等、の原因が考えられ、今後のこの点を踏まえ指導します。

第4期

貸与品返却時、帛紗2枚に目立った汚れがあり、絹に対応した洗剤で手引きに基づき洗濯した。残念ながら、購入時の風合いが無くなり、若干固くなってしまいました。

第5期

教室開始時に、貸与しようとした茶筌柄にひび割れを発見しました。第4期末貸与品回収時プラスチックハードケースに入れたまま回収、保管したためと考えられます。消耗品ではありますが、今後は水の付け置きはしない、十分乾燥させハードケースで保管する、回収時に確認する様、指導、留意致します。

第7期

参加者の希望に基づき、自宅稽古用に茶道具の貸与をしています。貸与時に貸与ルールを明記した、受領書に親子それぞれ、ルール確認の上、貸与書に署名の上、貸与しています。今期、貸与した茶巾を返却時見当たらず、その購入金額で弁済頂きました。

第8期

通常、茶の湯一席、及び煎茶道一席で行っていましたが、今期は幼児の参加者が多かったこともあり、叡智得留倶楽部と叡智庵の風炉を使用し、茶の湯二席で行うことが多々ありました。又、煎茶道席も COVID-19 禍で廻し出し<sup>15</sup>の手前では茶碗を互いに着けて輪状に配置する為、二煎目の際口に着けた個所が接触しうるため、感染予防の視点で新たなセットを出し計2セット使用しました。

当初、状況が分からず感染防止の為、茶巾、布巾等を中心に塩素系漂白剤に漬け置きで消毒することにより、劣化が目立ちました。その後、状況が分かってくる中で、厚生労働省は「体液

<sup>14</sup> 文化庁『令和2年度伝統文化親子教室事業実務手引書』（4頁、14頁）

<http://oyakokyoshitsu.jp/jigyo/files/jitumutebiki.pdf> [アクセス2021年3月31日]

<sup>15</sup> 廻し出し：茶碗を輪状に並べ、茶瓶（急須）をその茶碗の上を時計廻り走らせ、茶を茶碗の外に溢さない様に煎れる手前。



で汚れた衣服、リネンを取り扱う場合は、手袋、マスクを使用し、一般的な家庭用洗剤を使用した洗濯機を使用して、洗濯し完全に乾かします。<sup>16</sup>」とのことでした。

今後は第4期に制定した「MF\_財産管理規程」に追記しこれに基づき、管理してまいります。

[▲目次へ戻る](#)

---

<sup>16</sup> 厚生労働省：新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項（日本環境感染学会とりまとめ）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage\\_00009.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html)[アクセス 2021年4月15日]

## 第8期 監査報告書

叡智得留倶楽部 殿

監事： 秋山 あり子 

叡智得留倶楽部第7期事業報告書について下記の通り監査した結果、その内容が適正かつ経理事務が正確であることを下記証明します。

尚、更なる質の向上をめざし、「今後の是正点」にコメントします。

### 記

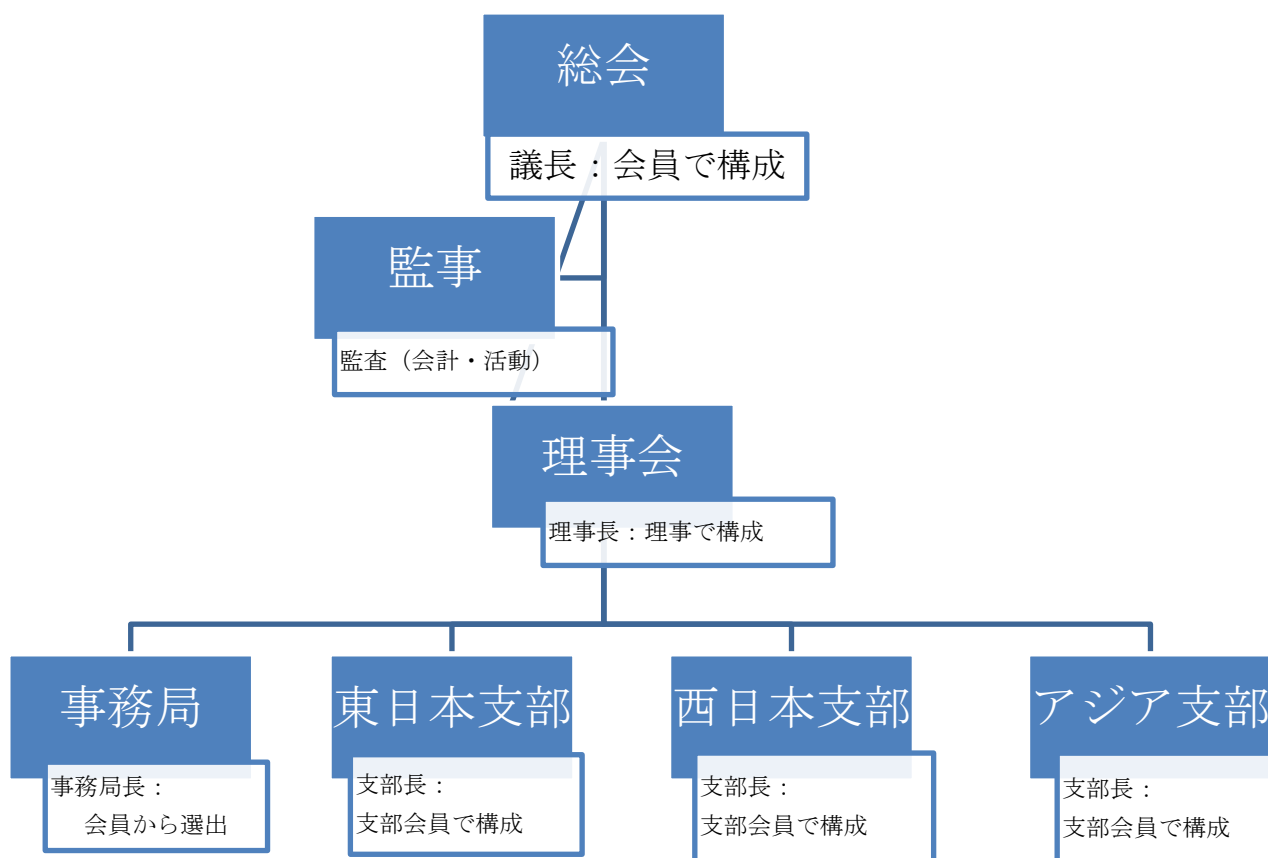
1. 監査期間  
2010(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日
2. 監査日  
2021(令和3)年 5月 3日
3. 監査対象  
活動報告書について、その関係文書  
会計報告書について、諸帳簿、収支決算書、預金通帳および関係書類
4. 今後の是正点 ( 無 ) ・ 有 )

## 第9期事業計画

### 第9期役員

代表理事・理事長（事務局）：湯澤 秀昭  
副理事長（会計担当・西日本支部長）：船山 一樹  
理事（東日本支部長）：林 宏子  
理事（アジア支部長）：マンド 真由紀  
監事（会計・活動）：秋山 やす子

### 第9期組織図



[▲目次へ戻る](#)

## 第9期活動計画（詳細「F\_第9期叡智得留倶楽部活動計画及び結果報告」参照）

第9期活動計画は、COVID-19の状況を踏まえ、以下大項目について理事会で臨機応変に対応します。

1. 茶事「杓底一残水」をとおし、和の総合伝統文化といわれる茶道を通し、「和の伝統文化」の啓発を行う。  
ここで、和<sup>17</sup>とは
  - ① 対立や疎外がなく、集団がまとまっている状態。仲よく、協力しあう気持ち。「一を保つ」
  - ② 争いをやめること。仲直り。「一を結ぶ」
  - ③ うまく調和のとれていること。つり合いのとれていること。を意味します。
2. 伝統文化親子教室事業<sup>18</sup>（「文部科学省の「放課後子供教室」は応募しませんでした）等、公的活動の推進、親子茶道教室の継続的实施、参加者フォロー、及びその内容の活用をする。
3. 定款に基づく、諸規程の作成及び是正。
4. 叡智得留倶楽部の組織強化
5. 活動の拡大  
持続可能な開発目標（SDGs）<sup>19</sup>に準拠して進める。  
親子茶道教室「茶事『杓底一残水』」の大人（大学生以上）版「茶道教室 茶事『杓底一残水』」

[▲目次へ戻る](#)

---

<sup>17</sup> コトバンク／大辞林 「和」

<https://kotobank.jp/word/%E5%92%8C-448360#E5.A4.A7.E8.BE.9E.E6.9E.97.20.E7.AC.AC.E4.B8.89.E7.89.88> [アクセス日：2021年4月12日]

<sup>18</sup> 文化庁、伝統文化親子教室事業について

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/oyako/> [アクセス日：2021年4月12日]

<sup>19</sup> 国際連合広報センター

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/) [アクセス日：2021年4月12日]

## 第9期会計予算

貸借対照表				貸借対照表			
2022年3月31日現在 (単位:円)				2022年3月31日現在 (単位:円)			
資産の部				負債・余剰金の部			
科目	前期実績	当期予算	予前期比	科目	前期実績	当期予算	予前期比
<b>【現金及び預金】</b>	918,790	88,819	9.7%				
三菱UFJ銀行	918,790	88,819	9.7%				
<b>【未収金】</b>	58,900			<b>【未払金】</b>	788,037		
茶事『杓底一残水』	0			茶事『杓底一残水』	0		
茶道教室	0			茶道教室	0		
伝統文化親子茶道教室	58,900			伝統文化親子茶道教室	788,037		
その他	0			その他	0		
<b>【未収益金】</b>	0						
文化庁支援金	0						
活動支援金	0						
<b>【仮払金】</b>	12,000			<b>【預り金】</b>	12,000		
茶道教室	12,000			茶道教室	12,000		
				負債の部合計	800,037		
				純資産の部			
				<b>【当期余剰金】</b>	-3,931	-100,834	2565.1%
				活動余剰金	-10,131	-110,434	1090.1%
				支援余剰金	6,200	9,600	154.8%
				<b>【前期繰越金】</b>	193,583	189,652	98.0%
				前期活動繰越金	135,483	125,352	92.5%
				前期支援繰越金	58,100	64,300	110.7%
				<b>【次期繰越金合計】</b>	189,652	88,818	46.8%
				次期活動繰越金	125,352	14,918	11.9%
				次期支援繰越金	64,300	73,900	114.9%
				純資産の部合計	189,652	88,818	46.8%
資産の部合計	989,690	88,819	9.0%	負債及び純資産の部合計	989,689	88,818	9.0%

## 損益計算書

2021年4月1日～2022年3月31日				2021年4月1日～2022年3月31日			
収入の部				支出の部			
科目	前期実績	当期予算	予前期比	科目	前期実績	当期予算	予前期比
<b>【参加費】</b>	802,700	488,000	60.8%	<b>【運営費】</b>	812,837	588,840	72.4%
茶事『杓底一残水』	24,800	28,000	112.9%	茶事『杓底一残水』	24,800	22,400	90.3%
茶道教室	0			茶道教室	0		
伝統文化親子茶道教室	88,900	160,000	180.0%	伝統文化親子茶道教室	99,037	266,440	269.0%
文化庁支援金	689,000	300,000	43.5%	文化庁支援金分	689,000	300,000	43.5%
その他	0			その他	0		
	0				0		
<b>【その他】</b>	6	6	100.0%		0		
寄付(残高確認)	5	5	100.0%		0		
受取利息	1	1	100.0%		0		
	0				0		
活動金収入合計	802,706	488,006	60.8%	支出の部合計	812,837	588,840	72.4%
				活動余剰金	-10,131	-110,434	
<b>【支援寄付】</b>	6,200	9,600	154.8%	支援余剰金	6,200	9,600	
茶事『杓底一残水』	6,200	9,600	154.8%				
その他	0						
収入の部合計	808,906	497,606	61.5%	当期余剰金	-3,931	-100,834	2565.1%

注：

1. 茶事『杓底一残水』は最低催行人数 3 名＋庵主 1 名分で計上し、茶道教室は採算人数 3 名及び茶事は庵主 1 名分を計上します。
2. 募集時に参加費から一定割合 20%を支援寄付に振替を明記した事業は、支出予算をその分下げ、差額は【支援寄付】として計上しています。
3. 文化庁伝統文化親子教室事業の予算は文化庁へ提出した「伝統文化親子教室提案書」で計上した金額を計上しています。
4. 伝統文化親子教室に文化庁支援金以外の予算を計上し、支出に総支出から文化庁支援金を除いた費用を計上しています。
5. 各事業の赤字分は各種ご支援をお願いします。

[▲目次へ戻る](#)

---

## 叡智得留倶楽部 会員及び役員記録（敬称略）

設立会員（7名） 2014(平成26)年5月31日設立時

設立代表者	湯澤 秀昭	東京都世田谷区
設立会員	秋山やす子	神奈川県川崎市
設立会員	平子 玲子	東京都板橋区
設立会員	船山 一樹	京都府城陽市
設立会員	中島 邦枝	北海道札幌市
設立会員	林 宏子	東京都清瀬市
設立会員	中村富士子	愛知県常滑市

歴代役員（ありがとうございました。）

第2-3期	副理事長（東日本担当）	中島 邦枝	北海道札幌市
第4-7期	理事（西日本担当）	本郷里生子	京都府八幡市

以上

[▲目次へ戻る](#)